

何であかんのやろ



わたしの名前ははるか。タブレットを見るのが
だいすき。何でもしらべることがができます。どう
画も見ることがができます。楽しくてしかたありま
せん。

今日は、おねえちゃんからすすめてもらったど
う画を見ました。何だかわからないことばがいっ

ぱい。でも何となく、使い方がわかるかんじ。どう画は楽しくて、長い時
間見てしまいました。

ある日、学校でそうじの時間に、友だちがどう
画の話をしていました。わたしも知っているチャ
ンネルだったので、手をとめておしゃべりをして
しまいました。



「いつまで、しゃべってんねん。ちゃんとしーやー。」
と、けんちゃんが言ってきました。

おしゃべりにむちゆうになっていたわたしは、

「えらっそうに言わんといて。」

「何言ってんねん。ちゃんとやれや。」

と、けんちゃん。

「うざいねん。きしよいなあ。」

と、言いかえました。

けんちゃんは、びっくりした顔でなみだをうかべました。

そこへ通りかかった先生に、

「はるかさん、今のことは言うたらあかん。」

と、つよくちゅういされました。

きゆうにまわりはずかになりました。

わたしは、どきどきしながら、

「どう画の中で、おもしろそうに言うてるやん。

何でおこられなあかんのよ。」

と、心の中で言いかえました。

次の日、すっきりしない気もちできょうしつに入りました。

「はるちゃん、きのう、先生におこられたね。」

と、友だちのさっちゃんに声をかけられました。

わたしはだまっただまうなずきました。

さっちゃんは、話をつづけます。

「わたしも、家でうざいやきしよいって言うたことがあるねん。でも、それを聞いてたお母さんにめっちゃおこられてん。」

わたしは、さっちゃんの話をしんげんに聞いています。





「うざいやきしよいじゃなく、もっと人をたいせつにする言葉をつかわなあかんよ。どう画の言ってることにながされたらあかんよってお母さんにおしえてもらってん。それからわたしは、ほんまにつかっていい言葉かちょっとだけ考えるようにしてんねん。」

と、さっちゃんは言いました。

さっちゃんの話聞いて、すっきりしなかったわたしの気もちは、少しずつ晴れていくような気がしました。

「そうだ。あとで、けんちゃんにちゃんとあやまろう。」

わたしはそう心にきめました。

